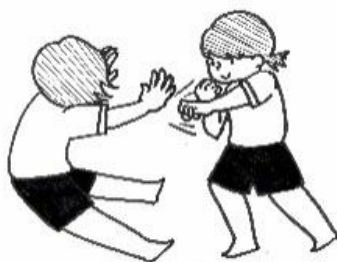


表現運動系領域部会

東京都小学校体育研究会 研究主題

一人一人の子供が自ら深い学びを実現していく体育学習

さあ！みんなに対決だ！！



【第1回実証授業】

授業日 令和3年7月6日（火）
単元 第5学年 表現「対決！」
場所 江戸川区立下小岩第二小学校
授業者 阿部 千春 主任教諭

【第2回実証授業】

授業日 令和3年10月21日（木）
単元 第6学年 表現「対決！」
場所 江戸川区立南小岩小学校
授業者 照沼 純 主任教諭

表現運動系領域部会 部会資料

1 研究の視点1 「子供一人一人が自らの学習課題を見いだすための手立ての工夫」

(1) 表現運動系領域における学習課題の捉え方

- 自分の思いや願いから設定した学習課題について（習得したい子）
「表現運動って楽しいな」という思いから、自分たちで「やってみたい」と見いだした学習課題。

① 自分の思いや願いから やってみたい

教師と一緒に踊って表現の楽しさを味わう

題材、イメージを選びたい

楽しむための態度を身に付けたい



「地球誕生」をやってみたい
「恐竜が生まれる」をやってみたい



はずかしがらずに踊りたい
友達と協力して踊りたい

- 自分の今もっている力から設定した学習課題について（活用したい子）
自分の動きや踊りを「もっと工夫したい」と見いだした学習課題。

② 今もっている力から 工夫したい

習得場面でよい動きを知る

動きを工夫したい

ジャンプしたりしゃがんだりして
オーバーに踊りたい

友達と動きを合わせて
踊りたい



スローモーションを
取り入れて踊りたい



場を広く使って
踊りたい

- 目標達成に向けての取組から設定した学習課題について（探究したい子）
自分の動きや踊りの「よさを知りたい」「よりよくしたい」と見いだした学習課題。

③ 目標達成に向けての取組から よりよくしたい

動きを分析したい ←→ 動きを工夫したい



タブレットで動画を
撮って分析したい

友達と動きを合わせて
踊りたい



自分たちの踊りを
見てもらって分析したい

場を広く使って
踊りたい



(2) 研究主題に迫るための工夫

① 一人一人の子供が学習課題を見いだす手立ての工夫

ア 運動との出会い

- 心と体をほぐす

第1時の心と体をほぐす時間を長く丁寧に行えるように設定した。子供は音楽のリズムに乗ったり、いろいろな人とペアになったりして楽しむことで心と体を解き放して、「もっとやってみたい」「踊るのが楽しい」という思いをもてるようにした。1人で動けるものから始め、2人、4人と関わる人数を増やしていくことで、友達と関わりながら動いたり踊ったりする楽しさを味わわせることができると考えた。

(実証授業1で取り入れた運動例)

ジャンプ&ストップ

体育館の中で自由に走り回り、太鼓の「ドン」の合図でジャンプする。また、太鼓の「ドドン」の合図でポーズをとって止まる。



足踏み

友達と手をつなぎ、相手の足を踏む。先に踏めた方が勝ちとなる。勝敗を決しても、何度でもやる。



窓ふき

ペアの友達の動きを真似する。リーダーになった子は大きな窓をイメージして体全体で拭く動きをする。



リズムダンス

スキップで弾んで踊れる軽快なリズムの曲を取り上げ、様々な動きを取り入れながら踊る。子供に馴染みのある曲だとよい。



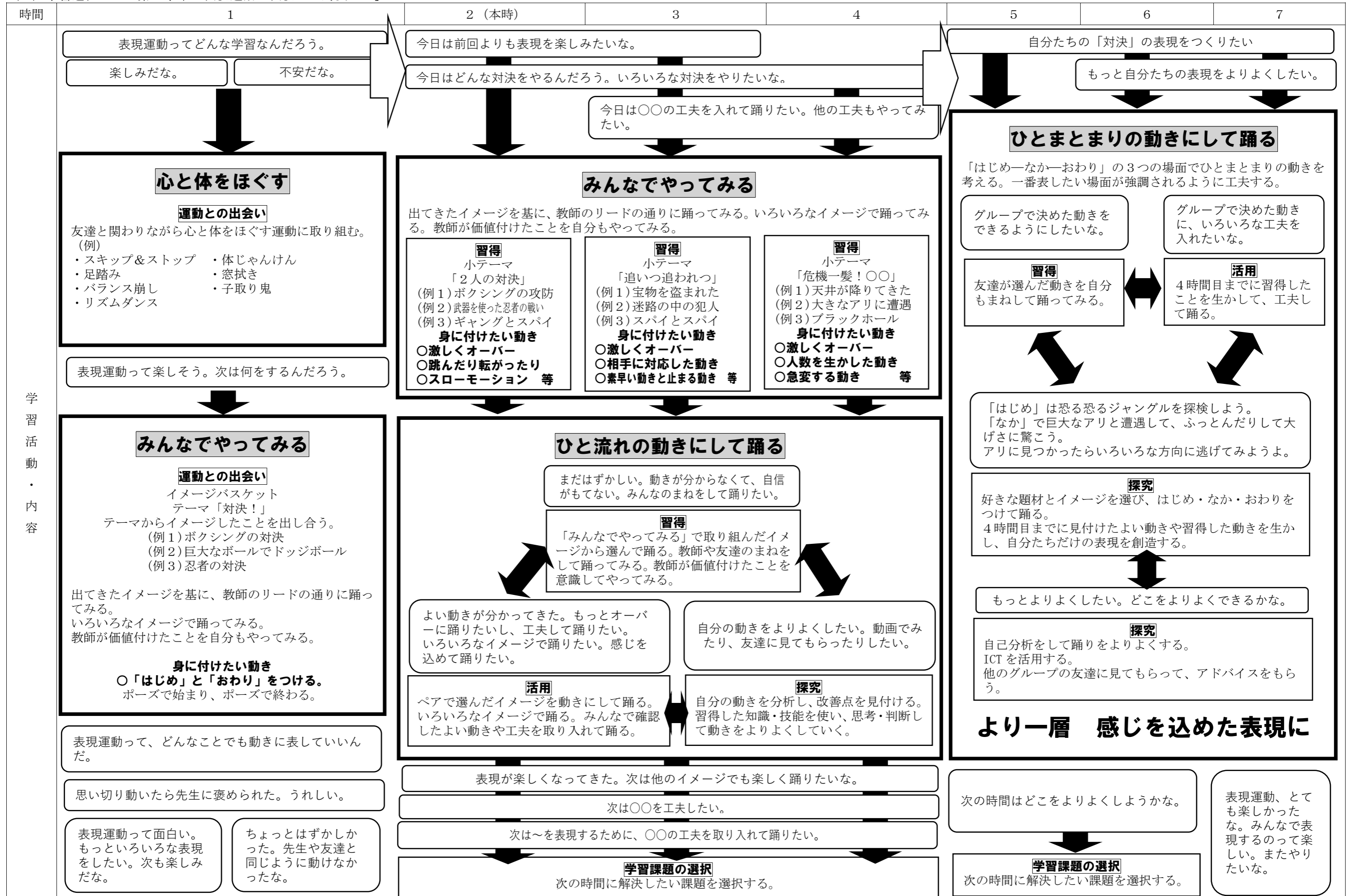
2 学習指導案

(1) 単元の目標

知識及び技能	表現の行い方を理解するとともに、表したい感じを表現することができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や発表の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	表現に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。

(2) 単元の評価規準

観点	単元の評価規準	学習活動に即した評価規準
知識・技能	運動の行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり踊りで交流したりしている。	①表現運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②対立・対応した動きに変化を付けたり繰り返したりして、メリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。 ③表したい感じやイメージを強調するように、「はじめ—なか—おわり」を付けた簡単な構成を工夫して、仲間と感じを込めて踊ることができる。
思考・判断・表現	自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	①表したい感じやイメージが表れているか、踊りの特徴を捉えて踊れているかなど、グループの仲間や他のグループの踊りを見て、自己やグループの課題を見付けている。 ②「表したい感じやイメージを強調する」という課題に応じて、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいる。 ③表したい感じやイメージにふさわしい動きになっているかをペアやグループ、クラス全体で見合い、よくなったところを伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	運動に積極的に取り組もうとし、互いのよさを認め合い助け合って踊ろうとしていたり、場の安全に気を配ったりしている。	①表したい感じやイメージを表現したりする運動に積極的に取り組もうとしている。 ②互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ③グループで取り組む際に、仲間と助け合おうとしている。



(4) 単元の指導と評価の計画

		1	2 (本時)	3	4	5	6	7		
		<p>心と体をほぐす</p> <p>友達と関わりながら心と体をほぐす運動に取り組む。</p> <p>1人で動けるものから始め、2人、4人と関わる人数を増やしていく。</p> <p>・スキップ&ストップ ・足踏み ・窓拭き ・バランス崩し ・子取り鬼 ・リズムダンス</p>								
		<p>オリエンテーション</p> <p>学習の進め方を知る。</p>	<p>学習活動・学習課題を確認する</p> <p>全体で本時の活動、個人で学習課題を確認する。</p>							
学習の流れ	<p>イメージバスケット</p> <p>題材「対決」からイメージするものを出してみる。</p>	<p>みんなでやってみる</p> <p>小テーマから特徴的な場面や動きをいくつかみんなでやってみる。</p>			<p>ひとまとまりの動きにして踊る</p> <p>「はじめ—なか—おわり」の3つの場面ではひとまとまりの動きを考える。一番表したい場面が強調されるように工夫する。</p> <p>・グループで表したいイメージについて話し合う。</p> <p>・「はじめ—なか—おわり」の3つの場面ではどのような動きをするのかを話し合う。</p> <p>・ひとまとまりの動きにして踊ってみる。</p>					
	<p>みんなでやってみる</p> <p>出てきたイメージを基に、教師のリードの通りにいろいろなイメージで踊ってみる。</p> <p>・ボクシングの対決</p> <p>・巨大なボールでドッジボール</p> <p>・忍者の対決</p>	<p>「2人の戦い」</p> <p>・ボクシングの攻防</p> <p>・武器を使った忍者の戦い</p>	<p>「追いつ追われつ」</p> <p>・宝物を盗まれた</p> <p>・スパイとスパイ</p>	<p>「危機一髪!○○」</p> <p>・天井が降りてきた</p> <p>・ブラックホールに吸い込まれそう</p>						
		<p>激しくオーバーに跳んだり転がったり</p> <p>スローモーション</p>	<p>激しくオーバーに相手に対応した動き</p> <p>素早い動きと止まる動き</p>	<p>激しくオーバーに人数を生かした動き</p> <p>急変する動き</p>						
		<p>イメージバスケット</p> <p>小テーマからイメージするものを出してみる。</p>								
		<p>ひと流れの動きにして踊る</p> <p>みんなでやってみるでやったイメージや、イメージバスケットで出したイメージから好きなイメージを選んで即興的に踊る。(2・3時間目は2人、4時間目は4人などのグループで踊る。)</p>								
		<p>学習の振り返り</p> <p>自分の学習課題を解決できたか、新しい気付きがあったかを振り返る。次時の学習課題に合った学習カードを選び、記入する。</p>								
評価の重点	知		② (観察・カード)		① (観察・カード)	③ (観察)				
	思			① (観察・カード)		② (観察・カード)	③ (観察・カード)			
	態	① (観察・カード)		② (観察・カード)	③ (観察)			② (観察・カード)		

(5) 本時の学習 (第2/7時)

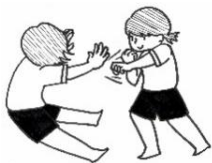
①本時のねらい

対立・対応した動きに変化を付けたり繰り返したりして、メリハリ (緩急・強弱) のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。【知識・技能】

②本時の展開

学習活動	○教師のかかわり ◎配慮児童への支援	□評価
<p>1 心と体をほぐす</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動をする。 ・リズムに合わせて教師のまねをしながら踊る。 	<p>◎恥ずかしさや苦手意識をもっている児童には、「先生のまねをしてみてね」と言って一緒に踊ることで、表現運動の楽しさを味わわせる。</p> <p>○「すばやく、スローモーション、ストップ、ねじり」など、変化や起伏のある動きを意図的に経験させられるようにリードする。</p>	
<p>2 学習活動の確認をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習活動を全体で確認する。 		
<p>3 イメージバスケット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2人の戦い」からイメージしたことを出し合う。 	<p>○子供のイメージを肯定的に受け止め、どんなイメージでも出してよいという雰囲気をつくる。</p>	
<p>4 小テーマ「2人の戦い」を、みんなでやってみる</p> <p>(例1) ボクシングの攻防</p> <p>(例2) 武器を使った忍者の戦い</p> <p>出てきたイメージを基に、教師のリードで踊る。いろいろなイメージで踊る。</p>	<p>○教師の動きをまねしたり、言ったことを動きにしてみたりするように伝える。</p> <p>○リードしながら、動きの工夫やリズムの工夫を取り入れて踊るようにする。子供がまねして工夫を取り入れたら、全体の場で称賛し、価値付ける。</p> <p>◎恥ずかしさや苦手意識をもっている児童には、近くに行って、教師の動きをまねするよう伝えて支援する。動きに少しでも変容が見られたら称賛する。</p> <p>○最初と最後はポーズで決めることで「ひと流れの動き」を意識させる。</p>	
<p>5 2人組でリーダーを交代しながら、いろいろな「2人の戦い」を変化のあるひと流れの動きで踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで確認したよい動きや工夫を取り入れて踊る。 	<p>○全体を観察し、一人一人の学びの段階に応じて指導や支援をする。</p> <p>◎支援を要するペアには、教師リードで一緒に踊ったり、具体的な動きを言葉かけしたりする。動きに少しでも変容が見られたら称賛する。</p>	<p>□対立・対応した動きに変化を付けたり繰り返したりして、メリハリ (緩急・強弱) のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。(観察)</p>
<p>6 クーリングダウンをする</p>	<p>○本時の学習を振り返りながら、心と体を落ち着かせられるようにする。</p>	
<p>7 学習の振り返りをする</p>	<p>○意識したことやできるようになったこと、次の時間にできるようになりたいことやよりよくしたいことについて振り返るよう伝え、本時の学習の成果や課題に気付けるようにする。</p>	
<p>8 学習課題を選択する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学習課題に合った次時の学習カード選ぶ。 	<p>○次の時間にできるようになりたいことやよりよくしたいことから、学習カードを選ぶことを伝える。</p> <p>◎自分の学習課題を見いだせない子供には、Aの学習カードを勧める。</p>	

東京都小学校体育研究会 表現運動系領域部会の研究資料



本日の夏季合同研究会で提案する資料です。
QRコードを読み取るとPDF資料が見られます。



【学習カード（夏季合研版）】

【個別最適な学びガイド（夏季合研版）】

R3夏季合研資料 学習カード



R3夏季合研資料 ガイド



※第1回実証授業後、成果と課題を反映させた夏季合研版を作成しました



ホームページはこちら

【第2回実証授業のお知らせ】

日程 令和3年10月21日（木）
単元 第6学年表現
会場 江戸川区立南小岩小学校
授業者 照沼 純 主任教諭



小体研表現運動系領域部会で一緒に研究しませんか？

表現運動系領域部会では、「運動が大好き！」「表現運動が楽しい！」という子供たちを増やすために研究を進めています。

コロナ禍では、主に ZOOM を活用して部会を行っていますが、研究内容によってグループを作って話し合ったり、実技研修を行ったりと、とてもアットホームな雰囲気です。興味のある方は、部長・副部長へお問い合わせください。部員一同、心よりお待ちしております。

